

製品名: MAP3K7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81452**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムおよび 0.5% タンパク質安定剤を含む PBS 中の精製抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000
分子量	67.2kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP3K7
別名	TAK1; MEKK7; TGF1a
遺伝子 ID	6885.0
SwissProt ID	O43318
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP3K7 (AA: 471-579) の精製された組み換え断片。

背景

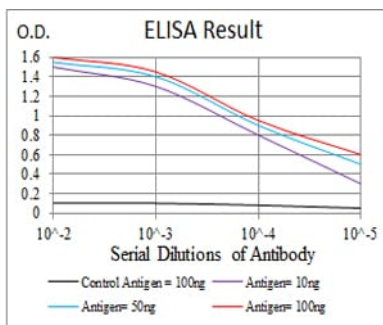
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンタンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼは、TGFβ および形態形成タンパク質 (BMP) によって誘導されるシグナル伝達を媒介し、転写調節やアポトーシスを含む様々な細胞

機能を制御します。IL-1 に応答して、このタンパク質は TRAF6、MAP3K7P1/TAB1、および MAP3K7P2/TAB2 を含むキナーゼ複合体を形成します。この複合体は核因子 κ B の活性化に必須です。このキナーゼは MAPK8/JNK、MAP2K4/MKK4 も活性化できるため、環境ストレスに対する細胞応答において役割を果たします。これまでに、異なるアイソフォームをコードする 4 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);